

ア キャリア教育の充実 評価項目（生徒：1～8 保護者：1～4 教員：1～9） ・教員の7が2.68と低いが、「ワンラックアップの進路実現」と難しい設問であり、また今年の共通テストも平均点が低かった影響もあると感じます。 ・生徒たちの自己評価は高く、先生方もそこまでではないがまずまずの評価はされているので、生徒たちにはいい指導ができているのだと思う。 ・就職指導（進路指導）からキャリア教育（キャリア支援・キャリア育成）など呼び名かわり、その役割も多様になっています。その中での取り組みは、総合学科としての特徴も活かした内容であると日頃から見受けています。
イ 学力の向上 評価項目（生徒：9～16 保護者：5～12 教員：10～16） ・「計画的な家庭学習を行っている」は総合的に低い結果となっているが、自分の子ども（高3）に付ける点数も低いと思う。また自分自身の学生時分に対しても低い結果となります・・・。計画性を持って学習している学生の方が少ないのでしょうねえ。 ・毎日、計画的な家庭学習を行っているは誰もが低いことに、思わずやっぱりと思う。本当に興味があればやるだろうがやらされている、毎日しなくても試験前だけすればなんとかなるなど、子供たちなりの家庭学習法を身につけているようにみえる。 ・学力も単なる知識の詰め込みから知恵の活用と、似て非なりな物が求められているのでしょうか。これも、課題を発見し、解決策を求め、実践して行く探求型の学習からその成果が生めるとも考えられ、文科省も強く推奨している点と推測しています。今後も総合学科の強みの上に展開いただくことに期待します。
ウ 人間力の育成 評価項目（生徒：17～24 保護者：13～21 教員：17～24） ・個人的にはこの項目が高いことを願います。高校生活で出来なかったこと、分からなかったことでも卒業してから心に響くような指導をお願いしたいと願います。 ・校則に関しては皆、評価が高い。
エ 教師力の向上と学校の特色化 評価項目（生徒：25～29 保護者：22～27 教員：25～32） ・今後統合を控え、益々特色のある学校づくりを目指していただき、北区以外からも多くの生徒が通ってもらえるように願います。 ・時代の変化に伴い昔はよかったことが今では通用しないということもある。ベテランの先生になればなるほど変化についていくのが厳しいだろう。保護者もそうである。保護者も一緒に学んでいける場が必要ではないかと思う。
各部年次の取組についてお気づきになったことをご自由にお書きください。 ・登下校マナーが気になりました。近隣住民や通学路上でのトラブルが減らないとありますが、北鈴蘭台から学校までは住宅地を通るしか道もなく難しい問題と思います。 ・総合学科通信による学年別の取り組み（K-Basic、K-Standard、K-Advanced）報告が非常にわかりやすく、充実した教育活動が行われていると思いました。 1～5について、評価項目が多いので、以前の数値との経年比較などがあれば、コメントしやすいかと存じます。 ・先生方もいろいろと取り組みをされて子供たちも成長していると感じます。